横浜ゴム株式会社

会社案内

YOKOHAMA

CORPORATE

1917年創業　おかげさまで100周年

横浜ゴムは、日本の近代化に不可欠なゴム製品の国産を目的に、「高級ゴム製品の製造を通じての社会貢献」を掲げ、1917年に横浜の地で創業致しました。その後、関東大震災、第二次世界大戦、40年不況、オイルショック、バブル崩壊、リーマンショックなどの社会情勢の変化を乗り越え、グローバル企業に成長してまいりました。
100周年を迎える2017年10月13日には、新たなビジョンを掲げ、世界の皆様の豊かさに貢献できる企業として、更なる成長を遂げる次の100年をスタート致します。

100周年マーク

YOKOHAMAのアイデンティティでもある「5本の、赤いライン」をモチーフに、100周年のさらに先の未来に向けて力強く進んでいく情熱を表現しています。
また100の「00」の重なりは、お客さまに必要とされるタイヤ・ゴムメーカーである続けるために、皆様とともに次の100年を作り上げる姿勢を表現しています。

ごあいさつ

代表取締役会長　南雲 忠信

横浜ゴムは1917年の創業以来、タイヤをはじめ、工業用品、スポーツ用品等、数々の製品を世に送り出してきました。その一つひとつがお客様の、そして社会の幸せと豊かさにつながるものとなるよう心をこめ、生産、販売、技術のすべてに最善をつくしています。これは、国内のみならず、世界に広がる横浜ゴムグループ全体で取り組んでいる姿勢です。

私たちはグローバル企業として更なる成長を遂げていくためにも、これまで以上に世界からの確かな評価を得なくてはなりません。その具体的指標となるのが「企業価値」であると考えます。そして、「良いモノを、安く、タイムリーに」ご提供することこそ、メーカーの使命であり、「企業価値」を高めることと考えています。

いうまでもなく、そのベースには「安全」の思想と「環境」への最大限の配慮が必要です。時代に先駆ける技術に一人ひとりの心をこめて、お客様の満足を得られるよう、人の、社会の、世界の幸せと豊かさに貢献してまいります。

PHILOSOPHY

横浜ゴムの企業理念は「基本理念」「経営方針」「行動指針」「企業スローガン」からなり、
「基本理念」は将来に向けて、横浜ゴムが一貫してこだわり続ける目指すべき姿、
「経営方針」は経営陣が自らに約束する経営の基本姿勢、
「行動指針」は従業員一人一人が自らに課す行動規範です。

CONTENTS

- Corporate philosophy ―― 01
- 中期経営計画「GD100」 ―― 03
- 事業の紹介 ―― 05
  - タイヤ …… 05
  - MB …… 07
  - スポーツ …… 09
- 研究開発 ―― 10
- CSR ―― 15
- 地球環境 ―― 17
- 地域社会 ―― 18
- 生産 ―― 19
- 販売 ―― 21

中期経営計画「GD100」

横浜ゴムは2017年に創業100年を迎えます。
2006年に、中期経営計画「GD100」（グランドデザイン100）をスタートさせました。
2017年までの12年間を3年ごとに4つのフェーズに分けており、
2015年から2017年にかけ、「GD100」の仕上げとなるフェーズⅣに取り組んでいます。

－ GD100のビジョンと基本方針 －

GD100

創業100周年にあたる2017年度に

企業価値・市場地位において、
独自の存在感を持つ
グローバルカンパニーを
目指します

基本方針

良いモノを、安く、タイムリーに
トップレベルの環境貢献企業になります
高い倫理観を持ち、
顧客最優先の企業風土を
作り上げます

長期財務目標（2017年度）

売上高 1兆円
営業利益1,000億円
営業利益率 10%

（長期財務目標は2006年に策定。営業利益率を除く目標達成は2018年以降になる見込みです）

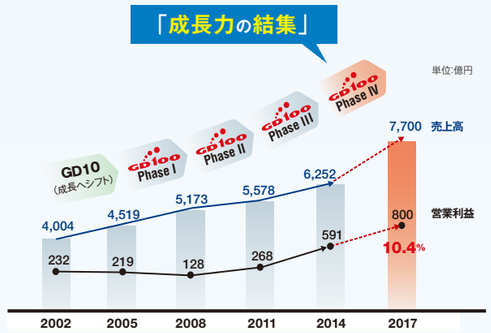
GD100 フェーズⅣ　2015年度～2017年度

● テーマ

成長力の結集

～YOKOHAMAの可能性を結集して、次の100年を切り拓く～

フェーズⅣ（2015年度－2017年度）はGD100の集大成であり、次の100年における飛躍に向けた布石を打つと共に、これまで積み残されてきた課題を払拭するフェーズと位置づけ、テーマを「成長力の結集～YOKOHAMAの可能性を結集して、次の100年を切り拓く～」としました。
これまでの各フェーズで取り組んできた「成長」、グループ全体の成長、個々の成長など、あらゆる成長力を結集して事業活動に取り組みます。また定量目標として、2017年度に売上高7,700億円、営業利益800億円、営業利益率10.4%の達成を掲げました。



● フェーズⅣ の考え方

**次の100年も、お客様に必要とされるタイヤ・ゴム製品メーカーで
在り続けるために、顧客価値を高め、グローバルに規模を拡大する**

全社一丸で、あらゆる行動を
お客様満足度向上に繋げる

横浜ゴムらしい
存在感のある商品

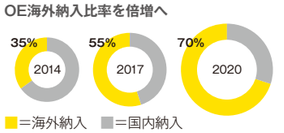
健全な財務体質を
生かした積極投資

タイヤ事業戦略

グローバルOE（新車装着）市場への注力

当社が持つ最高レベルの低燃費技術で、お客様の様々なニーズに応え、世界の自動車メーカーからの技術承認取得に努めます。これにより、OEタイヤの納入本数を増加させ、その中でも特に海外市場における納入比率を高め、2014年から2020年で倍増させる計画です。

OE海外納入比率を倍増へ

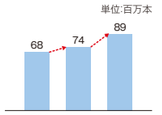


納入タイヤの一例
ADVAN Sport V105

大需要・得意市場でのプレゼンス向上

大需要地である中国、欧州、北米市場、当社の得意市場である日本、ロシアを中心に地産地消を進めます。同時にフェーズⅣ期間に総額1,200億円を投じてタイヤ年間生産能力の増強も進め、2014年度末の6,800万本から2017年度末に7,400万本、2020年度末に8,900万本まで引き上げる計画です。

年間生産能力推移



生産財タイヤ事業の拡大に向けた戦略

2015年下期に米国のトラック・バス用タイヤ新工場を稼働させ地産地消を促進するほか、49インチ以上の鉱山・建設車両用大型ラジアルタイヤの開発・拡販に取り組みます。また、2016年にはATG社を傘下に収め、新たに農業・林業機械用タイヤを商品ラインナップに加えることで、さらなる事業拡大を図ります。

51インチラジアルタイヤ
装着のダンプトラック

ATG

MB事業戦略

自動車部品ビジネスのグローバル展開

自動車用配管および接着剤について、全世界の自動車メーカーのニーズに対応できるよう生産・供給体制を拡充するとともに、顧客ニーズにあった高付加価値技術の展開に努めます。

自動車用配管ホース

得意の海洋商品でNo.1 カテゴリーの拡大

現在、世界で高いシェアを誇る空気式防舷材、マリンホースの事業強化を図ります。2015年下期のインドネシア海洋商品工場稼動により、マリンホースは世界で3拠点、空気式防舷材は2拠点の生産体制を確立します。

マリンホース

グローバルでの建機・鉱山ビジネス強化

建設機械向け油圧用高圧ホースをグローバルに拡販します。2015年には中国で新ホース工場も稼動する計画です。また、耐久性、環境性能に優れたコンベヤベルトを拡販します。

鉱山で活躍するコンベヤベルト

独自技術を応用した新規事業の拡大

水素ステーション用ホースなどの燃料電池自動車向けビジネス、世界的に急増するスマートフォン向けハードコート材など、新規分野に積極的に進出します。

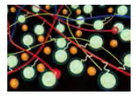
ブルーライトカット
ハードコート材

水素ステーションの
イメージ

技術戦略

YOKOHAMA 技術は新たなステージへ

マテリアルリサイクル技術を生かした資源の有効利用、分子レベルの構造に迫った環境にやさしい新素材・新技術の開発を進めます。


分子構造（イメージ図）

お客様に満足いただくYOKOHAMA品質

タイヤのプラットフォーム共通化を進め、世界中の工場で最高レベルのタイヤを生産できる体制を整えるほか、世界4極でのタイヤ開発体制を整え、現地ニーズに対応した商品開発を進めます。

次世代技術基盤の構築

先端的研究機関との連携など外部技術力も活用し、次世代基盤技術開発のスピードアップを図ります。

タイヤ周りの流体音響
シミュレーション

全社共通戦略

M&Aや提携を通じ外部リソースを積極的に活用します。また2006年からスタートした「ムダ取り活動」をベースにフェーズⅣの3年間で300億円規模の総コスト低減を目指します。このほかグローバルに活躍できる人材の育成強化、国際財務報告基準（IFRS）の導入検討を行います。

CSRへの取り組み

2008年に策定したCSR経営ビジョン、2010年にISO26000に基づいて定めた「7つの重点課題」を指針として、引き続きCSRに取り組みます。

7つの重点課題

組織統治　人 権　労働慣行　環 境　公正な事業慣行
消費者課題　コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

事|業|紹|介

TIRES

〈 タイヤ 〉

カーライフを彩る乗用車用タイヤから、人々の生活や物流を支えるトラック・バス用タイヤ、
資源開発や建設現場で活躍する建設車両用タイヤや、産業車両用タイヤ、農業・林業機械用タイヤまで。
横浜ゴムが開発・生産・販売するさまざまなタイヤは、社会のあらゆる場面で、高い品質でユーザーの信頼を獲得しています。

Passenger Car Tire 乗用車用タイヤ

乗用車用タイヤには、ドライバーの嗜好によってさまざまなニーズがあります。スポーツカー、ラグジュアリーセダン、SUV、ドレスアップ、そしてスタッドレスと、あらゆるドライブシーンに合わせたラインアップが、多様化するドライバーの幅広い要求を満たします。快適性、運動性、環境性、静粛性などあらゆるドライビングニーズに対応する乗用車用タイヤはYOKOHAMAの技術の結晶です。

ADVAN

横浜ゴムのグローバル・コンセプトを象徴するフラッグシップ・ブランド「ADVAN」。ハイパワーサルーン向けタイヤの「ADVAN Sport」、ハイレベルな静粛性を備えたプレミアムコンフォートタイプの「ADVAN dB」、走りを追求したストリートスポーツタイヤの「ADVAN NEOVA」、競技用スポーツタイヤ、新世代SUV向けタイヤなど充実したラインアップを揃え、積極的に世界中に展開しています。

BluEarth

BluEarth（ブルーアース）」は横浜ゴムが世界に向けて発信する次世代のタイヤ・コンセプト。「環境＋人と社会にやさしい」をテーマにタイヤをさらに進化させていきます。環境貢献とともに、人が運転する時に感じるストレスや車外通過騒音などを低減することで、「人と社会へのやさしさ」を実現していきます。独自の配合技術で、低燃費、ウェット、耐摩耗の3つの性能を高める「ナノブレンドゴム」の開発。そして「エアロダイナミクス」や「生体反応評価技術」の研究など、「BluEarth」は今後も数多くの新技術に取り組んでいきます。豊富なラインアップで、より多くの方々が利用でき、CO_2排出量に大きく貢献しています。

ice GUARD

温度により刻々と変化するさまざまな路面での確かな走りを実現する、（乗用車用）スタッドレスタイヤ「ice GUARD」。様々な横浜ゴム独自の技術の採用で氷上性能をレベルアップさせるとともにドライ、ウェット性能も大幅に向上させました。

GEOLANDAR

「地球上のあらゆる道や大地を自在に走る」をコンセプトとした、SUV用タイヤブランド「GEOLANDAR」。ロングツーリングでの優れたコンフォート性を実現したタイプから、オフロード性、耐摩耗性を高めたタイプ、さらに省燃費性能などの環境性に優れたタイプまで、さまざまな目的に適したタイプを揃えています。

Light Truck Tires 小型トラック用タイヤ

小型トラック用タイヤには市街地での配送・運送業務に適したフットワークが求められます。横浜ゴムの小型トラック用タイヤはウェット性能、耐久性・耐摩耗性を兼ね備え、経済性に優れ、また環境にも配慮し人々の生活を支えています。

Truck & Bus Tires トラック・バス用タイヤ

経済性・耐久性・安全性などの基本性能はもとより、季節や路面状況などのあらゆる使用条件に適応することが強く求められているトラック・バス用タイヤ。横浜ゴムは、これらの要求に応える多種多様なトラック・バス用タイヤを世界中に供給しています。そのため、偏磨耗の発生を抑制する「MSC理論」をはじめ、負荷時に起きるタイヤの挙動や変形をあらかじめ設計に反映させた「STEM-2理論」、チッピングやウェット走行に強く磨耗強度も高い新コンパウンドの開発など、物流新時代をひらくさまざまな理論や技術・素材開発を行っています。

ZEN シリーズ

トラック・バス用タイヤの新次元の総合環境性能を追求したグローバルコンセプト「Z. ENVIRONMENT」。このコンセプトを基に誕生したのがトラック・バス用タイヤのブランド「ZEN」です。環境性能とコスト削減効果の高いシリーズを展開しています。

トラック・バス用タイヤ空気圧モニタリングシステム

トラック・バス用タイヤの空気圧とタイヤ内空気温度をリアルタイムで確認できるシステム。運転席に設置された液晶パネルが表示と音でドライバーに異常を知らせ、事故防止につなげることができるほか、HiTESで適正なタイヤ管理を行うことでタイヤの性能を無駄なく発揮させ、コスト削減や環境負荷の低減につなげることができます。このようなシステムが高く評価され、2009年「エコプロダクツ大賞推進協議会会長賞（優秀賞）」を受賞しました。

Off-Highway Tires 建設・産業車両用、農業・林業機械用タイヤ

横浜ゴムは、建設車両用・産業車両用タイヤ専門工場を有し、耐久性や耐熱性に優れたタイヤを世界中の市場に送り出しています。超大型ダンプトラックや土砂の地ならしをするスクレーパ、採鉱場やダム建設現場で土砂を運ぶホイールローダ、排土作業を行うドーザ、道路工事や除雪を行うグレーダなど、さまざまな土木建設現場で使用される車両の足元を力強く支えています。さらに、2016年7月にオフハイウエイタイヤの専門メーカーであるAlliance Tire Group B.V.(ATG社)を買収し、新たに農業機械用、林業機械用タイヤが商品ラインナップに加わりました。ATG社は「ALLIANCE」、「GALAXY」、「PRIMEX」の3つのブランド保有し、欧米を中心に世界中で展開しております。特に、農業機械用タイヤは、世界的な人口増加による食料需要増に伴う農業機械の需要増加が予測されており、世界の農業を足元から支えていきます。

事|業|紹|介

MULTIPLE BUSINESS

〈 マルチプルビジネス 〉

資源、エネルギー、建築、運送機器…。産業の発展の礎として、横浜ゴムの技術は社会に貢献しています。
横浜ゴムはタイヤに加えて、ホース、コンベヤベルト、接着剤、航空部品などの多様な商品を製造・販売しており、
これらをMB(マルチプルビジネス)、すなわち多角的事業として位置づけています。

Hose and Coupling ホース配管

建設機械および工場設備で油圧装置を稼動させるための高圧ホース、自動車のエアコンやパワーステアリングに使用されるホースなど、さまざまな用途に対応する多彩な商品を揃えています。
更に燃料電池自動車用水素ガスステーションで使用されるディスペンサー用ホース「i-bar HGホースシリーズ」や次世代冷媒に対応したカーエアコン用ホースなど、次の時代に向けた商品開発にも力を入れています。

建設機械用高圧ホース

各種金具

水素ディスペンサー

高圧水素ガス用ホース「i-bar HG82」

Industrial Products 工業資材

「コンベヤベルト」「土木商品」「海洋商品」などの幅広い商品群は、国内外で活躍しています。コンベヤベルトは、耐摩耗・耐衝撃・耐熱等の高耐久性タイプから、走行抵抗を低減し消費電力を大幅に削減する効果のある省エネルギータイプまで。土木商品は、橋梁を地震から守るゴム支承から、高速道路で活躍しているハイウェイジョイントまで。海洋商品は、原油の輸送に用いられるマリンホースや、船舶同士の船体損傷を防ぐ空気式防舷材などがあり、世界トップクラスのメーカーとして産業を支えています。

工業資材の主な商品

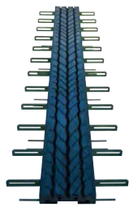
- **搬送商品：**コンベヤベルト
- **土木商品：**ハイウェイジョイント、ゴム支承
- **海洋商品：**マリンホース、空気式防舷材

省電力コンベヤベルト「ECOTEX」

空気式防舷材

マリンホース「Seaflex」

超高減衰ゴム支承が採用されている橋梁


ハイウェイジョイント「YS－Ⅱ」

Hamatite, Electronic Materials ハマタイト・電材

ハマタイトとは、横浜ゴムが製造・販売するシーリング材、防水材、接着剤を総称する事業ブランドです。建築分野では外壁や窓枠用シーリング材、屋上やベランダ用のウレタン塗膜防水材などがあります。高層建築を陰で支える建築用シーリング材は、日本各地の主要な建築物に採用され、トップブランドとしての地位を築いています。また、自動車用や工業用の接着剤も数多く開発しており、人々の生活環境で使われることの多いハマタイト商品は、有機溶剤を含まない商品や、現場で作業に携わる人々の安全と健康を考えた商品を開発しています。
併せて、電気・電子機器および部品向けに接着剤、コーティング材、封止材といった商品も取り揃えています。
密着性、耐久性に加え、ブルーライトカットなどの付加価値を兼ね備えたコーティング材。太陽光発電モジュールに採用されているシーリング材。音特性が良くなる、熱を伝えやすいなどの独自技術を活かしたユニークな接着剤。配合技術・合成技術を活かしたLED用封止材など多数の商品を取り扱っています。
環境と人に優しく、快適なモノづくりを実現し、未来の社会に貢献できる事業を目指して、国内外で自然エネルギーや情報機器などの分野へ積極的に展開しています。

ハマタイトの主な商品

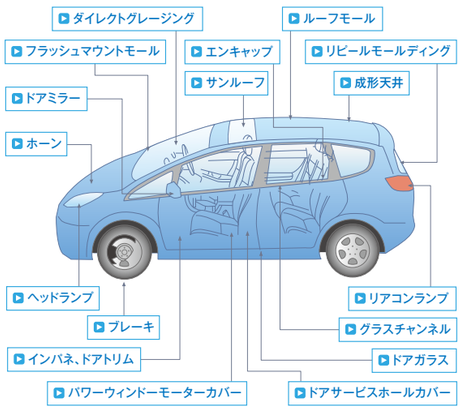
- **建築用シーリング材：**2成分形・1成分形シーリング材
- **ウレタン塗膜防水材：**アーバンルーフシリーズ
- **その他接着剤：**
  自動車用接着剤、複層ガラス用シーリング材、木質系床材用接着剤(ECU-193)

ウレタン塗膜防水材
「アーバンルーフ」

主要な高層ビルにも多数使用
されている建築用シーリング材

コーティング材・
LED 封止材の使用例

内外装さまざまなパーツの接着剤として
使用されるハマタイト



Aerospace Products 航空部品

航空部品事業は長年培ってきた、ゴム、金属、複合材の技術を基に、航空機、船舶、車両向けに、タンク、断熱材、軽量複合材、音響材などのさまざまな商品を製造しています。ゴム素材を使った燃料タンクや燃料ホース、金属素材を使ったVバンドカップリングやベローズアッセンブリー。さらに、軽量複合材を使ったウォータータンクやラバトリーモジュール(化粧室ユニット)、プリプレグなど、多様な商品を供給しています。

ラバトリーモジュール

ウォータータンク

カップリング

MULTIPLE BUSINESS

事|業|紹|介

SPORTS

〈 スポーツ 〉

横浜ゴムのゴルフ用品ブランド、PRGR。1983年の誕生以来、ゴルフを「クラブとボールの衝突の結果生まれる物理現象として捉える」という独自のコンセプトを基に、進化し続けています。

Golf Products ゴルフ用品

1984年、PRGRはゴルフ界に初めてヘッドスピードという概念を打ち出しました。これを機に経験と勘に頼っていたクラブづくりに終止符が打たれ、素材、重量、長さ、大きさ、バランス、さまざまな点からクラブが科学されるようになりました。
PRGRの提唱したヘッドスピード理論は現代ゴルフの基礎、常識にもなっています。斬新な発想と独自の理論から生み出されるPRGR製品。ゴルファーに感嘆と感動を届けるブランドとして、PRGRは国内外から常に注目を集めています。

PRGRブランド商品

土佐カントリークラブ(ヨコハマタイヤゴルフトーナメントPRGRレディスカップ開催会場)

横浜ゴムは、「研究開発」から「生産」、「販売」に至るまで、心と技術をこめたモノづくりにより、幸せと豊かさに貢献しています。

横浜ゴムでは、様々な技術の可能性に挑戦してきました。
ゴム・コンパウンドなどのタイヤ関連材料は勿論、金属、軽量複合材、炭素繊維などの幅広い新素材から、工業品、航空部品、スポーツ用品など様々なフィールドで、研究開発から生産、販売までを行っています。
これらは世界中で多角的に評価され、次世代の技術躍進に貢献しています。

研究開発

安全性を追求し、環境に配慮した商品を生み出すのは、研究開発に基づいた確かな技術です。
横浜ゴムでは、世界トップレベルの環境貢献企業をめざし、創意工夫、応用実践、複合化技術を開発テーマに、ゴム高分子技術をはじめとする、さまざまな技術を生み出してきました。それは材料開発に始まり、商品設計、試験・評価に至るまで多角的、総合的な開発をめざすものです。
例えばタイヤの研究開発。さまざまな用途に合わせたゴムコンパウンドの配合や、タイヤ構造・トレッドパターンの設計を行い、試作タイヤを作ります。でき上がったタイヤは国内の「D-PARC（ディー・パーク）」、「北海道タイヤテストセンター」、タイの「TIRE TEST CENTER of ASIA」、スウェーデンの「YOKOHAMA TEST CENTER of SWEDEN」などの各テストコースにおいて、日々さまざまな路面状況に応じた走行試験や多角的なテストが行われ、そこで得たデータが次世代のタイヤ開発に活かされていきます。タイヤ以外の分野においても、斬新な発想を持って開発を進めています。最先端の設備と技術により、既成概念にとらわれず新しい素材開発や商品設計を行い、日本初、世界初の技術を生み出していきます。

RADIC ▶ 研究開発センター

平塚製造所内の研究開発センター「RADIC（ラディック）」は、最先端の技術拠点として1991年にオープンし、以来横浜ゴムにおける研究開発の中枢を担う基地となりました。ここでは、スーパーコンピューターや電子顕微鏡、材料表面分析装置、核磁気共鳴分析装置などを駆使して、材料開発や商品設計、さらにあらゆる条件を想定したシミュレーションが繰り返し行われています。
その他にも、新たに生み出される商品の元となる新素材の物性評価や、タイヤの諸特性（静・動特性）をテストするための最新鋭評価機器による研究開発が行われています。

名　称：RADIC（Research and Development Integrated Center）
所在地：神奈川県平塚市追分2番1号 横浜ゴム平塚製造所内

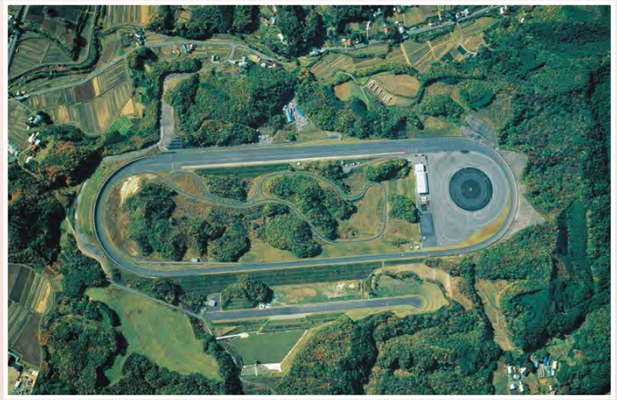
モータースポーツ

レース、ラリーなどの幅広いモータースポーツに参戦するYOKOHAMA。各カテゴリーで華々しい戦績を残すと同時に、国内外のチームにコンペティションタイヤの供給を行い、優れた成果を上げています。
モータースポーツ活動は、タイヤ開発への貢献という重大な役割を担っています。マシンに装着されるタイヤの最先端の高分子技術および設計技術が、市販タイヤの開発にも活かされています。モータースポーツフィールドで培った技術を商品のテイストアップにフィードバックし、高性能タイヤの開発に活かしています。最新の技術がぶつかり合うモータースポーツは、未来のタイヤが誕生する壮大な実験の場でもあるのです。

テストコース

D-PARC ▶総合タイヤテストコース

茨城県大子町にある「D-PARC(ディー・パーク)」は、横浜ゴムの総合タイヤテストコースです。現在ここでは、高速楕円周回路をはじめ、円旋回路、さまざまな路面を集めた特殊試験路、山岳のワインディングロードを想定したハンドリング路など、さまざまな路面状況を想定し、多角的なテストを繰り広げています。
ここで収集された騒音評価や乗心地評価などの豊富なデータは、リアルタイムで神奈川県平塚市にある「RADIC」に送信され、タイヤの設計、開発部門へフィードバックされ、次世代のタイヤ開発に活かされています。



名　称：D-PARC（Daigo Proving-ground and Research Center）
所在地：茨城県久慈郡大子町下金沢695番地

北海道タイヤテストセンター ▶冬季タイヤテストコース

北海道旭川市にある「北海道タイヤテストセンター」は、スタッドレスタイヤをはじめとするウィンタータイヤの実車テストコースです。従来の冬用タイヤテストコースの約4倍を誇る広大な敷地内には、直線が約1キロにおよぶ圧雪路のほか、氷盤路、登坂路、雪上／氷上旋回路、ハンドリング路を備えています。氷点下の気温が安定的に続く12月末から翌年2月までの厳冬期には実車テストに最適な条件が整っています。

名　称：北海道タイヤテストセンター(Tire Test Center of Hokkaido)
所在地：北海道旭川市神居町上雨紛500

TIRE TEST CENTER of ASIA ▶総合タイヤテストコース

タイにあるTIRE TEST CENTER of ASIAは世界の一般道路を再現した外周路を活用し、乗用車用、トラック・バス用タイヤにおける性能評価の強化と品質向上や、高速走行試験の充実を図るために作られた大型総合タイヤテストコースです。さまざまな路面状況を想定した特殊試験路やウェット試験路により、操縦安定性、燃費、耐久性、騒音、振動、乗り心地に至るまで、多角的な試験が繰り広げられています。タイヤ生産販売会社「ヨコハマタイヤ・マニュファクチャリング・タイ」が近隣にあるため、生産・開発部門との連携が取りやすく、走行・評価テストの結果を新しいタイヤ開発に役立てています。

名　称：TIRE TEST CENTER of ASIA
所在地：135 Moo 2, Tambol Tasit, Amphur Pluakdaeng,Rayong Province 21140, THAILAND

YOKOHAMA TEST CENTER of SWEDEN ▶冬季タイヤテストコース

スウェーデンにある「YOKOHAMA TEST CENTER of SWEDEN」は、スウェーデンのArctic Fallsと長期貸与契約を結んだ冬用タイヤの実車テストコースです。敷地内には、さまざまなテストコースがそれぞれ独立して配置されており、乗用車用タイヤの開発を行っています。氷点下の気温が安定的に続く11月頃から翌年4月頃までの長期にわたって冬用タイヤの実車テストが可能となっております。

名　称：YOKOHAMA TEST CENTER of SWEDEN
所在地：c/o Arctic Falls AB, 942 91 Visttrask, SWEDEN

横浜ゴムグループのCSR

横浜ゴムは企業理念として「心と技術をこめたモノづくりにより、幸せと豊かさに貢献します」と掲げています。
私たちはこの理念にのっとった事業活動の推進こそがCSRの根源であると考えています。
「持続可能な社会の創造」に向け、中期経営計画「GD100」の基本方針の考えに基づき企業活動を展開し、
企業としての信頼を得ることで、より豊かな社会の実現に貢献していきます。

企業理念（CSR経営ビジョン・行動指針）

企業理念（1990年制定）

基本理念

心と技術をこめた
モノづくりにより
幸せと豊かさに貢献します

経営方針

- 技術の先端に挑戦し、新しい価値を創り出す
- 独自の領域を切り拓き、事業の広がりを追求する
- 人を大切にし、人を磨き、人が活躍する場をつくる
- 社会に対する公正さと、環境との調和を大切にする

行動指針

- 自らを鍛え、自己ベストに挑戦する
- たがいに信頼し合い、ぶつかり合い、高め合う
- 外に向けて開かれた心を育てる

企業スローガン

「すごいをさりげなく」

CSR経営ビジョン（2008年制定）

社会からゆるぎない信頼を得ている地球貢献企業になる

CSR行動指針

- 変化し続ける社会動向をつかむ
- 貢献できる課題を見極める
- 迅速に行動しゆるぎない信頼を得る
- 一人ひとりがCSR当事者として行動する

横浜ゴムグループ行動指針（2014年改訂）

1. 社内外を問わず人権を尊重します
2. 安全で健康な職場をつくります
3. 地球環境との調和を図ります
4. 安全・高品質な製品・サービスを提供します
5. 透明性の高い企業活動を行い、適切に情報を開示します
6. 法令のみならず社会規範を守ります
7. 地域社会との共存共栄を図ります

中期経営計画グランドデザイン100（GD100）

ビジョンと基本方針

創業100周年にあたる2017年度に企業価値・市場地位において、
独自の存在感を持つグローバルカンパニーを目指します

長期財務目標（2017年度）

売上高：7,700億円　営業利益：800億円　営業利益率：10.4%

基本方針

良いモノを、安く、タイムリーにトップレベルの環境貢献企業になります
高い倫理観を持ち、顧客最優先の企業風土を作り上げます

（2015年改訂）

環境GD100

基本方針

経営方針に示された「社会に対する公正さと、環境との調和を
大切にする」を規範として、トップレベルの環境貢献企業になる

- 環境経営を持続的に改善します
- 地球温暖化防止に取り組みます
- 持続可能な循環型社会実現に貢献します

（2006年制定）

横浜ゴムが重視する社外イニシアティブ

当社グループは国連グローバル・コンパクト*の10原則を規範とし、ISO26000*の枠組みに沿ってPDCA*(Plan-Do-Check-Act)を回しています。

国連グローバル・コンパクトの10原則

人　権
- 原則1　人権擁護の支持と尊重
- 原則2　人権侵害への非加担

労　働
- 原則3　組合結成と団体交渉権の実効化
- 原則4　強制労働の排除
- 原則5　児童労働の実効的な排除
- 原則6　雇用と職業の差別撤廃

環　境
- 原則7　環境問題の予防的アプローチ
- 原則8　環境に対する責任のイニシアティブ
- 原則9　環境にやさしい技術の開発と普及

腐敗防止
- 原則10　強要・賄賂等の腐敗防止の取組み

THE GLOBAL COMPACT
WE SUPPORT

ISO26000中核主題

1. 組織統治
2. 人権
3. 労働慣行
4. 環境
5. 公正な事業慣行
6. 消費者課題
7. コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

2014年から、私たちは多岐にわたるCSR課題の中から、自社にとってもステークホルダーにとっても影響が大きく、関心の高いテーマを特定し、優先順位をつけて活動を推進してきました。併せて、「地球環境」「地域社会」「お客さま」「株主・投資家」「取引先」「従業員」のステークホルダーごとに、当社が果たしていくべきテーマを「横浜ゴムの重要課題」として掲げて活動しています。

横浜ゴムのステークホルダー

- 地球環境 …… 青い地球と人を守るために、環境との調和を通じた持続可能な社会づくりに挑戦します
- 地域社会 …… 地域社会の繁栄・発展に貢献し、社会からゆるぎない信頼を得ている地球貢献企業になります
- お客さま …… 心と技術を込めたモノづくりにより、安全・安心な商品を提供します
- 株主・投資家 … 事業を成長させ、企業価値を高めていきます
- 取引先 …… バリューチェーンを通じたCSR活動を推進します
- 従業員 …… 人を大切にし、人を磨き、人が活躍する場をつくります

〈お客さま〉

心と技術を込めたモノづくりにより、安全・安心な商品を提供します

試乗会の様子

〈株主・投資家〉

事業を成長させ、企業価値を高めていきます

コンプライアンスカード

〈取引先〉

バリューチェーンを通じたCSR活動を推進します

取引先を招いての勉強会

〈従業員〉

人を大切にし、人を磨き、人が活躍する場をつくります

技能オリンピックの開催

地球環境

～青い地球と人を守るために、環境との調和を通じ持続可能な社会づくりに挑戦します～

現在の社会は、天然資源の枯渇、気候変動、生態系の崩壊など、さまざまな問題を抱えており、すべての事業活動は環境に影響を与えます。また、環境の変化が事業継続にかかわる大きなリスクとなり得ることも事実です。そのため横浜ゴムは、すべての事業プロセスにおいて環境に与える負荷を最小限にするよう努めるとともに、「地球温暖化防止」「資源再生・循環」「省資源」「安全・快適性」の項目で環境評価を行い、基準を満たした商品だけを上市する環境貢献商品の拡大に努めています。このような考えや活動を明文化したものが、「環境GD100」、「全社環境方針」であり、トップレベルの環境貢献企業となることを社内外に宣言しています。また、従業員が取るべき行動を「横浜ゴムグループ行動指針」に記しています。「環境GD100」、「全社環境方針」、「横浜ゴムグループ行動指針」はCSRレポートWeb版をご参照ください。

環境に対する取り組み

グローバル環境経営の推進

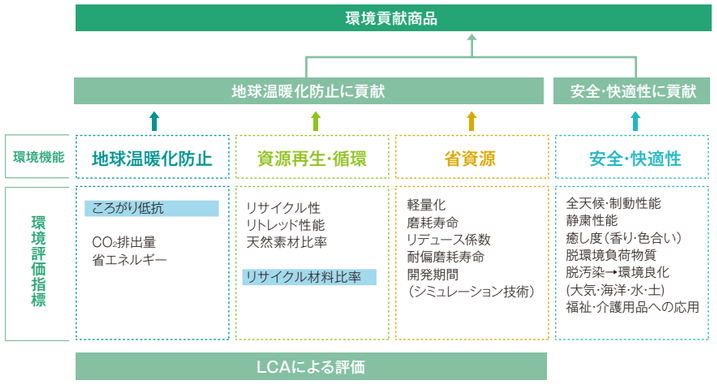
横浜ゴムグループは、地球環境との調和を図り、事業経営を持続していくために、「低炭素社会の実現」・「資源型循環社会の実現」・「生物多様性保全」をグローバルな環境経営の同質化の中で推進しています。「低炭素社会の実現」では、環境貢献商品をお届けし、温室効果ガス(GHG)を中長期目標に沿ってバリューチェーン全体での削減に取り組んでいます。「資源循環型社会の実現」では、再生ゴムのリサイクル推進、産業廃棄物を削減し、完全ゼロエミッションの達成生産拠点を増やしています。「生物多様性保全」は海外での天然ゴムの安定供給、拠点周辺の水リスク低減のために調査・保全を実施しています。

なぜ環境貢献商品が重要か

商品が生産から廃棄されるまでの各段階で、環境に与える負荷(CO_2発生量)を数値データで把握する手法LCA(ライフサイクルアセスメント)で、横浜ゴムグループの主力商品であるタイヤを測ると、使用段階でのCO_2発生量が全ライフサイクルの80～90%を占めています。そのため、横浜ゴムでは特に「低燃費を実現する環境貢献商品を生み出すこと」に注力しています。横浜ゴムグループが提供する新商品は、開発の開始段階で環境アセスメントを行い、設計審査(デザインレビュー)の場において、当社が定める環境貢献商品規定※をクリアしないと開発が許可されない仕組みとしているため、世に出るすべての新商品が環境貢献商品となっています。

※環境貢献商品規定:新たに開発する商品において、「地球温暖化防止」「資源再生・循環」「省資源」「安全・快適性」の4項目の評価点平均が、従来商品の値を5%以上上回り、かつ全項目で悪化がない商品であること

4つの環境機能と環境機能指標



iceGUARD 5 PLUS

乗用車用スタッドレスタイヤ「iceGUARD 5 PLUS」
省燃費性能を高めた乗用車用スタッドレスタイヤ

高圧水素ガス用ホース「i-bar HG82」
燃料電池自動車(FCV)に燃料の水素を充填するディスペンサー用ホース

地域社会

～地域社会の繁栄・発展に貢献し、社会からゆるぎない信頼を得ている地球貢献企業になります～

社会や地域との相互コミュニケーション

「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトをグローバル展開

「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトは、創業100周年を迎える2017年までに国内外の全生産拠点に合計50万本の苗木を植えるプロジェクトとして2007年にスタートしました。地域の安全や環境、生物多様性を守る「いのちの森」を創生するため、植物生態学者の宮脇昭氏(横浜国立大学名誉教授)の指導のもと、潜在自然植生に基づく植樹活動の全作業を従業員と地域の皆さまで行っています。

「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクト植樹祭の様子

生態保護プロジェクトの支援

中国の環境NGO「北京三生環境発展研究院」が実施する環境保護活動に賛同し、老君山プロジェクトへの活動支援を続けています。同プロジェクトは、中国雲南省麗江老君山自然保護区内にある少数民族の村を対象に実施されており、これまで森林伐採でしか生計を立てられなかった村の経済を、農畜産物生産経済へと転換することで生態系を保護しようという活動です。横浜ゴムでは、2011年の活動開始時点から一貫して資金援助や資材の提供による支援を続けています。

黎光村の生態保護プロジェクトの活動開始式

生物多様性保全活動の推進

「環境と共生」活動の一環として、生物多様性保全活動を進めています。ヨコハマタイヤ・マニュファクチャリング・タイランド(YTMT)では、海外では最初の事業所として2013年に生物多様性保全活動を開始しました。敷地内にビオトープの池をつくり、鳥類・トンボ・蝶類の調査を通じて自社の生産活動が環境にどう寄与しているかをモニタリングしています。集められたデータから工場内の生物多様性を把握し、さらに多様性を維持・増加させる方法を考えるとともに、近隣の方々に学習・交流の場としても利用してもらう事で、地域の皆さまとの全体活動にしていくべく、今後も活動を続けていきます。

生物多様性保全活動の情報公開イベント(タイ)

ビオトープづくり

横浜ゴムグループは、世界中で社会や地域との絆を深めています

Japan

地元小学生の工場見学受入れを実施し、モノづくりの楽しさを伝えています。
〈長野工場〉

Japan

尾道市主催の環境まつりに出展し、横浜ゴムの環境活動を紹介しました。
〈尾道工場〉

Korea

黄砂防止に向けてモンゴル砂漠地帯で植樹を行いました。
〈ヨコハマタイヤ韓国〉

China

工場周辺の清掃を定期的に行っています。
〈杭州横浜輪胎〉

生　産

メーカーの使命は「良いモノを、安く、タイムリーに」提供することと考え、最高レベルの商品をお届けすべく、最先端の技術を導入した生産拠点において、徹底した品質管理のもと生産活動が行われています。また、従業員一人ひとりが品質改善をはじめとした活動に積極的に取り組んでいます。海外における生産拠点も増えており、米国や中国などでは現地で生産した製品を現地で販売するなど、地域に根付いた生産・販売活動を行っています。

国際品質規格である「ISO9001」の認証は全タイヤ生産拠点で取得しています。さらに、自動車産業向けの品質マネジメントシステムである国際品質規格の「ISO/TS16949」も国内外の生産拠点で取得するなど、高いレベルでの生産活動を維持しています。新たに設立する工場はもちろん、従来の工場においても環境に配慮した生産体制を整えています。国内の生産拠点では、クリーン燃料の高効率なコージェネレーションシステムを導入しており、大幅なCO_2削減を可能にしています。さらに国内の全生産拠点では、産業廃棄物の埋立処分量をゼロにする完全ゼロエミッションを達成しており、今後は産業廃棄物の100%再資源化をめざしています。

国内生産拠点

平塚製造所
〒254-8601 神奈川県平塚市追分2-1
TEL (0463)35-9501

ハマタイト工場
〒254-0014 神奈川県平塚市四之宮1-7-7
TEL (0463)31-3003

三重工場
〒516-8530 三重県伊勢市御薗町高向1038
TEL (0596)28-3151

三島工場
〒411-0832 静岡県三島市南二日町8-1
TEL (055)975-0800

新城工場
〒441-1343 愛知県新城市野田字古屋敷1
TEL (0536)22-2251

新城南工場
〒441-1338 愛知県新城市一鍬田字大入10-24
TEL (0536)26-2100

茨城工場
〒319-0198 茨城県小美玉市羽鳥西1
TEL (0299)46-1111

尾道工場
〒722-0051 広島県尾道市東尾道20
TEL (0848)46-4580

長野工場(高森)
〒399-3102 長野県下伊那郡高森町吉田548
TEL (0265)35-3211

長野工場(豊丘)
〒399-3201 長野県下伊那郡豊丘村河野9100
TEL (0265)34-2051

海外生産販売会社

1 YOKOHAMA TIRE MANUFACTURING VIRGINIA LLC
1500 Indiana Street, Salem, VA 24153, U.S.A.
TEL : +1(540)375-8407　FAX : +1(540)375-0220

2 YOKOHAMA TIRE MANUFACTURING MISSISSIPPI, LLC.
1 Yokohama Blvd, West Point, MS 39773, U.S.A.
TEL : +1(800)423-4544　FAX : +1(714)870-3377

3 YOKOHAMA INDUSTRIES AMERICAS OHIO INC.
474 Newell Street, Painesville, OH 44077, U.S.A.
TEL : +1(440)352-3321　FAX : +1(440)352-6975

4 YOKOHAMA INDUSTRIES AMERICAS INC.
105 Industry Drive, Versailles, KY 40383, U.S.A.
TEL : +1(859)873-2188　FAX : +1(859)873-8943

5 SUZHOU YOKOHAMA TIRE CO., LTD.
No.158, Huaqiao Road, Xuguan Industrial Park,
Suzhou National New & Hi-Tech Industrial
Development Zone Suzhou, Jiangsu Province, 215151,CHINA
TEL : +86(512)6818-1008　FAX : +86(512)6818-1007

6 HANGZHOU YOKOHAMA TIRE CO., LTD.
No.55. No.3 Street, HEDA(Xiasha), Hangzhou, 310018, CHINA
TEL : +86(571)8672-5885　FAX : +86(571)8672-5753

7 YOKOHAMA TIRE PHILIPPINES, INC.
IE5 Clark Freeport Zone 2023, PHILIPPINES
TEL : +63 (45)599-3603~5　FAX : +63(45)599-3613

8 YOKOHAMA TIRE MANUFACTURING(THAILAND)CO., LTD.
7/216 Moo 6 Amata City Industrial Estate, Tambol Mapyangporn,
Amphur Pluakdang, Rayong Province 21140, THAILAND
TEL : +66(38)627-170　FAX : +66(38)627-199

9 YOKOHAMA TYRE VIETNAM INC.
No.17, Street 10, Vietnam Singapore Industrial Park,
Thuan An, Binh Duong Province, VIETNAM
TEL : +84(650)3767909　FAX : +84(650)3767029

10 SHANDONG YOKOHAMA RUBBER INDUSTRIAL PRODUCTS CO., LTD.
Xinzhai Local Town, Linqu County, Weifang City,
Shangdong Province, CHINA 262610
TEL : +86(536)344-0237　FAX : +86(536)334-2597

11 YOKOHAMA INDUSTRIAL PRODUCTS - HANGZHOU CO., LTD.
No.89, Sanfeng Road, Qianjin Industrial Park Jiangdong
Level Block Hangzhou, CHINA
TEL : +86(571)56975288　FAX : +86(571)56975299

12 SC KINGFLEX CORPORATION
No.99 Hsiyuan Road, Jungli IND. Park, Jungli,
Taoyuan, 32057, TAIWAN R.O.C.
TEL : +886(3)451-4015　FAX : +886(3)451-2969

13 YOKOHAMA RUBBER(THAILAND)CO., LTD.
Eastern Seaboard Industrial Estate, (Rayong) 64
Moo 4 Tambol Pluakdaeng, Ampur Pluakdaeng
Rayong 21140, THAILAND
TEL : +66(38)954-625　FAX : +66(38)954-636

14 LLC YOKOHAMA R.P.Z.
Special Economic Zone "Lipetsk", Kazinka Village,
Gryazy District, Lipetsk Region 399071, RUSSIA
TEL : +7 (4742)727-800　FAX : +7 (4742)727-900

15 YOKOHAMA INDIA PRIVATE LIMITED
Plot No.1, Sector 4B, Bahadurgarh Industrial Estate,
HSIIDC Bahadurgarh Jhajjar, Haryana -124 507
TEL : +91(1276)662200　FAX: +91(1276)662000

16 YOKOHAMA INDUSTRIAL PRODUCTS ITALY S.r.l.
Località Tamarete - 66026 Ortona (CHIETI) ITALY
TEL : +39(085)90-33-81　FAX: +39(085)90-33-83-07

17 PT. YOKOHAMA INDUSTRIAL PRODUCTS MANUFACTURING INDONESIA
Jl. Mas Surya Negara VIII No.6 Kawasan Industri
Terpadu Kabil Batam 29467, INDONESIA
TEL : +62(778)807-0100　FAX: +62(778)807-0101

18 ALLIANCE TIRE COMPANY LTD.
Head office, Hadera Plant :
1 Friedlander Street, P.O.Box 48, Hadera 3850001, ISRAEL

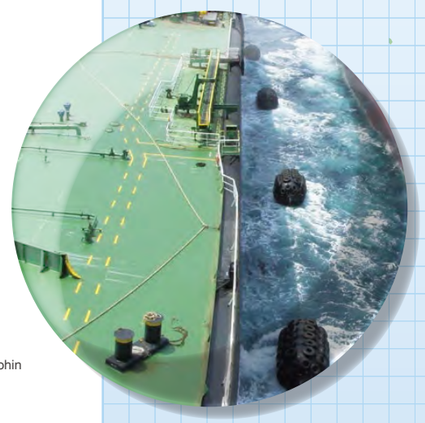
19 ATC TIRES PRIVATE LTD.
Head office :
Block No 53&27-C. 2nd Floor, 414,
Empire Industries limited, Senapati Bapat Marg,
Lower Parel, Mumbai-400 013, INDIA

20 Tirunelveli Plant :
Plot No. A2, SIPCOT Industrial Growth Centre,
Gangaikondan, Tirunelveli,
Tamilnadu 627 352, INDIA

21 Dahej Plant :
D-III, 23 & 23A Dahej Industrial Estate,
Village-Samantpore, Taluka-Vagra,
District Bharuch,Gujarat-392 140, INDIA

天然ゴム加工工場

1 Y.T. RUBBER CO., LTD.
51/2 Moo.1 Tambon Tha Sa Thorn,Amphur Phunphin
Suratthani 84130,THAILAND
TEL : +66-21070-735　FAX: +66-21070-734



販売

個人消費者を対象とする乗用車用タイヤやゴルフ用品の販売においては、店頭やイベント会場でのお客様とのふれあいが大きな意味を持ちます。
横浜ゴムは、店頭ではもちろんのこと、各種モーターショーなどにも積極的に参加し、単体および車両に装備したタイヤやホイールをじっくりご覧になっていただくとともに、お客様との密接なコミュニケーションを図っています。ゴルフ用品についても、国内の販売店で行われる試打会や試打クラブのレンタル、フィッティングスタッフによるお客様に合った商品選びのお手伝いなどを行っています。
こうした“ふれあいの場”で得られた生の声は即座にフィードバックされ、商品の改善や新商品の開発に役立てられています。

また、MB商品やトラック・バス用および建設車両用タイヤなどは、第一線で日々使われているお客様の要望を聞くことからはじまります。何度も現場へ足を運ぶことで、お客様の真のニーズを把握し、そこから一つひとつの商品が生み出されます。
世界各地にタイヤおよびMBのネットワークを構築し、国内外一体となった販売体制を確立する横浜ゴム。ワールドワイドなマーケティング戦略のもとに、「YOKOHAMAブランド」のさらなる価値向上をめざします。

海外販売会社・事業会社

1 YOKOHAMA TIRE (CANADA) INC.
#500-9325 200th Street, Langley,
BC. V1M3A7, CANADA
TEL : +1 (604) 546-9656 FAX : +1 (604) 513-8162

2 YOKOHAMA TIRE CORPORATION
1 MacArthur Place, Suite 800 Santa Ana, CA 92707 U.S.A.
TEL : +1 (714) 662-9800 FAX : +1 (800) 400-9656

3 YOKOHAMA AEROSPACE AMERICA, INC.
22223 68th, Avenue, South Kent,
WA 98032-1010, U.S.A.
TEL : +1 (253) 395-1112 FAX : +1 (253) 395-1113

4 YOKOHAMA RUBBER LATIN AMERICA INDÚSTRIA E COMÉRCIO LTDA.
Rua Cubatão, n°86-Conjunto 1510-15° Andar,
04013-000 Paraiso, São Paulo/SP, BRASIL
TEL : +55 (11) 3284-3484 FAX : +55 (11) 3284-3484

5 5 YOKOHAMA RUBBER (CHINA) CO., LTD.
10F, Gubei International Fortune Center,
1452 Hongqiao Road, Shanghai, 200336, CHINA
TEL : +86 (21) 3209-1717 FAX : +86 (21) 6167-1816

6 YOKOHAMA TIRE SALES (SHANGHAI) CO., LTD.
10F, Gubei International Fortune Center,
1452 Hongqiao Road, Shanghai, 200336, CHINA
TEL : +86 (21) 3209-2727 FAX : +86 (21) 6167-1800

7 YOKOHAMA INDUSTRIAL PRODUCTS SALES -SHANGHAI CO.,LTD.
3209-10,32F,
New Town Center NO.83 Loushanguan-rd.,
Changning district, Shanghai, 200336, CHINA
TEL : +86 (021) 6236-8811 FAX : +86 (021) 5206-7165

8 YOKOHAMA TIRE TAIWAN CO., LTD.
Suite 601 6th Floor No.88, Sec 2,
Chung Hsiao E. Road, Taipei, TAIWAN R.O.C.
TEL : +886 (2) 2356-8528 FAX : +886 (2) 2391-9242

9 YOKOHAMA TIRE KOREA CO., LTD.
Hwangwha B/D 602,320 Gangnam-daero,
Gangnam-gu, Seoul, KOREA
TEL : +82 (2) 588-1533 FAX: +82 (2) 588-3711

10 YOKOHAMA ASIA CO., LTD.
7th floor, Zone A, Thanapoom Tower,
1550 New Petchburi Road,
Makkasan, Ratthewi, Bangkok 10400, Thailand
TEL : +66 (2) 654-7530 FAX : +66 (2) 654-9241

11 YOKOHAMA INDIA PRIVATE LIMITED
20th Floor, DLF Building No.5, Tower-C, DLF Cyber City,
Phase-III, Gurgaon, Haryana-122 002, INDIA
TEL : +91-124-617-9700 FAX : +91-124-617-9800

12 YOKOHAMA TIRE SALES PHILIPPINES, INC.
Unit A2, First Midland Building, 109 Gamboa Street,
Legaspi Village, Makati City, PHILIPPINES
TEL : +63 (2) 8175031 FAX : +63 (2) 8175035

13 YOKOHAMA TIRE SALES (THAILAND) CO., LTD.
12th Floor, Zone A, B, Thanapoom Tower,
1550 New Petchburi Road, Makasan,
Ratthewi, Bangkok 10400, THAILAND
TEL : +66 (2) 652-6996 FAX : +66 (2) 652-6998

14 YOKOHAMA EUROPE GmbH
Monschauer Strasse 12,
D-40549 Düsseldorf, GERMANY
TEL : +49 (211) 5374050 FAX : +49 (211) 53740523

15 YOKOHAMA SCANDINAVIA AB
Gustavslundsvägen 135, SE-167 51 BROMMA,SWEDEN
TEL : +46 (8) 445-7888 FAX : +46 (8) 761-7075

16 YOKOHAMA RUSSIA L.L.C.
Panfilova street 19 Building, 1, 3rd Floor, 141407 Khimki,
Khimki-Center, Moscow region, RUSSIA
TEL : +7 (495) 739-4844 FAX : +7 (495) 739-4843

17 YOKOHAMA DANMARK A/S
Hammerholmen 12, DK-2650, Hvidovre, DENMARK
TEL : +45 (3645) 0046 FAX : +45 (3645) 4549

18 YOKOHAMA H.P.T. LTD.
Dawson Road, Mount Farm Bletchley,
Milton Keynes, Buckinghamshire MK1
1AH UNITED KINGDOM
TEL : +44 (1908) 625625 FAX : +44 (1908) 625637

19 YOKOHAMA REIFEN GmbH
Monschauer Strasse 12,
D-40549 Düsseldorf, GERMANY
TEL : +49 (211) 52940 FAX : +49 (211) 593481

20 N.V. YOKOHAMA BELGIUM S.A.
Bosstraat 54 bus 8 3560 Lummen BELGIUM
TEL : +32 (0) 13 61 99 00 FAX : +32 (0) 13 61 99 09

21 YOKOHAMA AUSTRIA GmbH
A-1230 Wien, Deutschstrasse 19, AUSTRIA
TEL : +43 (1) 61631500 FAX : +43 (1) 616315090

22 YOKOHAMA SUISSE SA
La Maladaire 16, 1562 Corcelles-Pres-Payerne,
SWITZERLAND
TEL : +41 (26) 6624000 FAX : +41 (26) 6624001

23 YOKOHAMA IBERIA S.A.
C/Francisco Rabal, 9-Nave 5, Polígono Industrial La Garena,
28806 Alcalá de Henares, Madrid, SPAIN
TEL : +34-91-659-1560 FAX : +34-91-659-1569

24 YOKOHAMA INDUSTRIAL PRODUCTS EUROPE GmbH
Monschauer Strasse 12,
D-40549 Düsseldorf, GERMANY
TEL : +49 (211) 53740570 FAX : +49 (211) 53740579

25 YOKOHAMA TYRE AUSTRALIA PTY., LTD.
123-129 Silverwater Road, Silverwater,
N.S.W. 2128, AUSTRALIA
[P.O. Box 6002, Silverwater, N.S.W. 1811, AUSTRALIA]
TEL : +61 (2) 8748-2600 FAX : +61 (2) 9737-8014

26 YOKOHAMA TIRE MEXICO S. DE R.L. DE C.V.
Armando Birlain #2001 Torre 1 Of. 8B, Col. Centro sur,
C.P. 76090, Querétaro, Qro, México
TEL : +52 (442) 404 9500

27 YOKOHAMA INDUSTRIAL PRODUCTS ASIA-PACIFIC PTE. LTD.
1 Tampines Central 5, CPF Tampines Building
#07-10, Singapore 529508
TEL : +65 (6587) 7190 FAX : +65 (6260) 4394

28 ALLIANCE TIRE EUROPE B.V.
Alpha Tower De Entree 59 1101 BH Amsterdam

29 ALLIANCE TIRE AMERICAS INC.
201 Edgewater Drive Suite 285 Wakefield, MA 01880

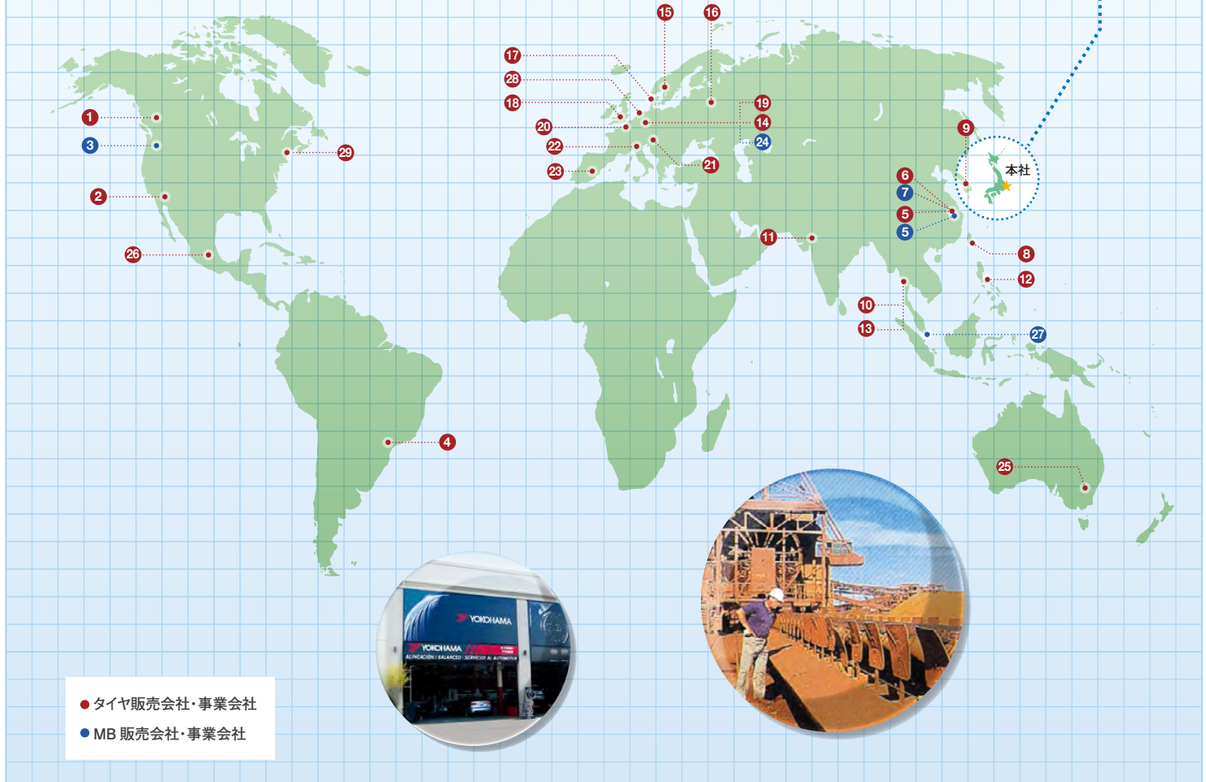
国内販売会社

株式会社ヨコハマタイヤジャパン
〒105-8685 東京都港区新橋5-36-11
TEL (03) 5400-4609

横浜ゴムMB ジャパン株式会社
〒105-8685 東京都港区新橋5-36-11
TEL (03) 5400-4861 FAX (03) 5400-4849

株式会社プロギア本社
〒105-0004 東京都港区新橋5-36-11
TEL (03) 3436-3341

ヨコハマゴム・マリン& エアロスペース株式会社
〒105-8685 東京都港区新橋5-36-11
TEL (03) 5408-1285 FAX (03) 5408-1284



THE YOKOHAMA RUBBER CO.,LTD.

VEGETABLE OIL INK

横浜ゴム株式会社 広報部

〒105-8685 東京都港区新橋5-36-11
TEL : (03)5400-4531
FAX : (03)5400-4570
URL : http://www.y-yokohama.com/

2017.01